

新宮山彦ぐるーぷ第2272回

## 浦向道の点検・整備

◇実施日 2月11日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、大江加予子・徳子、西克、高階

鈴子・美根子、梶野照雄、志岐敬、山本直子、大森洋、

阪口雄二、山口康宏、栗山有佳 14名

10年位前か、前代表の川島さん提唱で、ゴールデンウィーク前に本宮から前鬼までの奥駈道巡視が始まった。なぜかその一番バスターが浦向道と定着している。そして毎年の第一回行事となっている。



初参加の栗山さん

登山口に着く

伐採跡地を登る

14名の参加となり、午前8時30分下北山村役場駐車場に集合。

今回は村の職員栗山さんが初参加。村職員の参加は初めてのことで、過去に何度かお誘いしたが実現しなかった。栗山さんは通行止めゲートの鍵も持参してくださった。  
本日の予定などを説明した後、登山口に出発。下山口に西、梶野の2車をデポし、全く積雪の無い道を予定通りに進み補給路登山口に着く。



行仙宿に到着

お正月飾りを片付ける

本日の参加者

今日はモノレールを使用しないので、全員ザックを背にスタートする。第一ベンチで休んでいると最後尾の大江加さんがやってきた。顔色が良くなり「しんどい」と体調が悪そうだ。徳子ちゃんも車に戻って待機するよう勧めている。少し様子を見て、小屋迄行くか戻るかを判断することだ。大江さんを残して登りだす。途中の登山道に異常は無く、一時間ほどで小屋に着いた。

11時半頃に出発したので早めに昼食を摂るように伝えて、お堂や小屋の整理を行う。お正月飾りを片付け、内外の清掃を行った。

児嶋さんは昨年同様にブロワーで掃除しながら降りるようで、燃料の補給などをしてしている。志納箱を確認するが空っぽだった。R169の通行止めが影響しているようだ。12月17日以後の宿泊は無かったらしい。

午前11時過ぎから早めの昼食を摂り出発準備も完了したが、大江さんは登ってこなかった。登山口に降りて待機しているようだ。11時半過ぎに小屋を後にする。

川島橋まで来て状態を確かめる。橋の下、架け替え工事の際は何とか歩く事ができたが現在は深く抉れて歩くことは出来ない。年々ひどくなっているようだ。路肩部分の崩れが激しい所にトラロープを張って歩かないように対策をとった。



川島橋の状況

林道に大江さんが

順調に下る

登山道に異常は無く、数本の枯れ枝を排除して林道に降り立つ。林道には大江さんの姿があった。11時半から待っていたらしい。モノレール旧終点で高階鈴子さんから体調がすぐれないと申し出

があり、徳子ちゃんと一緒に下山して登山口で待機することになった。今頃徳子ちゃんはお母さんがいない、どこへ行ったのかと心配しているはずだ。沖崎が同行して大江さんと二人で登山口に戻った。25分で登山口に着いたが、二人の姿がない。車のクラクションを鳴らしてみるのが反応がない。車でR425方向に走ったら二人を発見、大江さんがひよつとしてこちら迄歩いてきているのではないかと探していたそうだ。事情を説明してヤレヤレとなった。登山口に車を3台デポしていたので、その3台に分乗して浦向の登山口に戻り一行の到着を待った。

### 【林道↓浦向の登山口】

林道に降りると大江さんが待っていた。沖崎さんと大江さんが一緒に登山口に向かうことになり、残りの11名で浦向の登山口に向かう。



倒木を処理



バイカオウレン



上平ご夫妻

杉林の中の道に特別異常は無く、児嶋さんはブロワーで落ち葉を吹き飛ばしながら、西さんと栗山さんはヘッジトリマーで小枝を切りながら下った。栗山さんは小走りに降りることもあり、何度か足を滑らせていたがバランス感覚の良さでカバーし、転倒することは無かった。

チェーンソーの出番は無いと思っていたが、登山口まで15分ほどの所で直径15cmほどの倒木が道に横たわっていた。志岐さんと二人で処理した。十津川橋手前でいつもバイカオウレンが咲いている場所があるので、数輪の開花株を写真に収め登山口に着いた。

(記：梶野)

予定通り午後3時、浦向登山口に到着。栗山さんも元気だ。

チェーンソーの倒木処理も一本のみだった。林道からここ迄の登山道にも異常は無いと報告を受ける。

十津川橋付近で所有山林整備中の上平さんご夫妻がおられ、皆さんに紹介して日頃のお礼を申し上げた。

去年と今年で80歳になるのが6名、75歳を迎えるのが9名と高齢化が顕著だ。自身の健康管理と、無理するな、安全第一 をより一層気に留めなければならない。

(記：沖崎)

## 行動タイム

09：15 補給路登山口 10：25 行仙宿 11：35→12：08 川島橋→13：

00 林道→15：00 浦向の登山口